

記 事

例会案内

日本医史学会 3月例会

令和5年3月25日(土)
オンライン開催

1. 「華岡流麻酔法の終焉と吸入麻酔の普及にお雇
い外国人医師が果たした役割」

牧野 洋(浜松医科大学附属病院
麻酔科蘇生科 講師)

麻酔の歴史を振り返りながら、明治維新期
に華岡流にかわり吸入麻酔薬が普及したこと
へのお雇い外国人医師の功績について紹介
する。

2. 「味岡三伯の薬効論と近世日本の薬物書」

吉川澄美(東京都)

江戸時代における臨床家の薬物論はどのよ
うに日本化の変遷を辿ったのか。古方派出現
以前の味岡三伯の薬効論を主に考察し、その
他個性的な薬物書を紹介します。

日本医史学会 4月例会

令和5年4月22日(土)
オンライン開催

1. 「レプラと奇跡 脱神話化と脱医学化に向けて」

堀 忠(関西学院大学大学院
神学研究科研究員)

表題拙著(新教出版)の内容に沿って、古
代キリスト教文献におけるレプラと奇跡の概
念史(成立、展開から分岐まで)を追跡する。

2. 第28回富士川游学術奨励賞 受賞記念講演

「明治初期の種痘再考~岡山と千葉の比較から」

松村紀明(帝京平成大学)

明治初期の岡山と千葉における種痘につい

て、地域医療の視点からその実態を比較検討
する。

日本医史学会 6月例会

令和5年6月24日(土)
オンライン開催

1. 「海上随鷗(稲村三伯)の医書と造字について」
西嶋佑太郎(京都大学大学院博士後期課程)

多量の造字が読解の障壁となっている海上
随鷗の医書を解説すべく、造字の収集、字義
の同定を行っており、その知見を紹介します。

2. 「日本における結核療養所の変遷」

青木純一(日本女子体育大学 特任教授)

かつて膨大な数の患者が暮らした結核療養
所を、統計資料・図・表・写真をもとに紹介
する。

以上は変更の可能性がありますので、必ず開催
直前に医史学会のサイトをご
確認ください。また、7月以
降についても確定し次第、同
サイトでご案内いたします。

<http://jsmh.umin.jp/events.html>



しばらくはZoomを用いたオンライン開催を継
続いたします。参加方法については、日本医史学
会事務局(jsmh@juntendo.ac.jp)にお問い合わせ
ください。

また、本例会でのご発表を随時募集しており
ます。ご希望の方は、演題・希望する月を明記の上
事務局(同前)までご連絡下さい。原則として発
表者は会員に限ります。